

## 自動走行車による解決可能な行政課題について

- 実証エリアにおいて、自動走行車を活用することにより解決できる行政課題についてご記入ください。
- 交通不便地対策、高齢者対策など複数テーマがある場合は、それぞれご記入ください。

市町村名 刈谷市

テーマ 技術でにぎわいをつくる～刈谷ハイウェイオアシスを核とした周辺観光資源を活用した自動走行車による散策～

刈谷市北部の丘陵地に、公園と高速道路のパーキングエリアを隣り合わせて、一般道路や高速道路からお互いに行き来できる施設として刈谷ハイウェイオアシス（岩ヶ池公園）が平成16年に開園し、開園10年を経た現在、年間来客数840万人（平成26年実績）、マスコミ報道等で「ディズニーランド、ユニバーサルに次いで入場者数全国第3位のテーマパーク」などの情報発信がされ、全国的に注目を集める観光施設となっています。

この周辺地には、国の天然記念物に指定されたカキツバタ群落で有名な「小堤西池」、桜の咲き誇るお花見スポットであり、温水プール、テニスコート、ロッジ、デイキャンプ場などスポーツ・レジャー施設を備えた緑豊かな総合公園「洲原公園」などがあり、素晴らしい“自然環境”が守られています。

ハイウェイオアシスの来場者数が年々着実に伸びている一方で、周辺に位置する小堤西池や洲原公園等の来場・利用者数は横ばい又は減少傾向となっており、ハイウェイオアシスが与える影響は施設内にとどまっており、地域全体の活性化にどう繋げるかが課題となっている。

このハイウェイオアシスの「たまり」という機能を有効に活用し、ハイウェイオアシスを拠点に「洲原公園」や「小堤西池」の刈谷北部丘陵地の施設間の移動手段として、自動走行車を使った周遊コースを設け、移動の利便性を向上させる。高速道路利用者も周辺地域へ足を伸ばすことができるようになり、オアシスと周辺地域が一体となった「活力」と「魅力」ある地域再生が図られます。オアシスのメニューと周辺地域のメニューの相乗効果によりさらに刈谷市への来訪者を増加させ、交流エリアの広域化とともに地域活性化を図る。

## 自動走行車の実験走行ルートについて（複数ルート提示も可）

1 区間 出発地点：刈谷市東境町 刈谷ハイウェイオアシス

到着地点：刈谷市井ヶ谷町 洲原公園

2 地理条件（バスルートの有無、地域の状況を記入）

- 灌漑用ため池とその周辺に畑地が広がる緑豊かな丘陵地。
- 洲原池は周囲を公園として整備され、湖畔に愛知教育大学が隣接している。
- コースは刈谷市と豊田市の市境付近に位置し、コース中間部は豊田市域で住宅街を形成している。

3 道路条件

項目	状況	備考
① 走行距離	2. 3km	
② 白線	有り	
③ 片側1車線		洲原池周辺は1車線道路
④ 歩車分離	分離構造	
⑤ 横からの流入車	少ない	
⑥ トンネル	なし	

4 その他

項目	状況	備考
① 関係者との調整	豊田市	
② 待機場所	あり	岩ヶ池公園駐車場 洲原公園駐車場
③ その他		



5 走行ルート（地図）





## 6 写真

写真① 実験車両待機場所 兼 発着場（岩ヶ公園駐車場）



写真② 実験車両待機場所 兼 発着場（洲原公園駐車場）



写真③ 道路の様子（市道 1-1018 号線）



写真④ 道路の様子（東境町吉野交差点）





写真⑤ 道路の様子（豊田市道）



写真⑥ 道路の様子（西岡町星ヶ丘交差点）



写真⑦ 道路の様子（市道 1-995 号線）



写真⑧ 道路の様子（井ヶ谷町丸岡交差点）





写真⑨ 道路の様子（市道 1-110 号線）



写真⑩ 道路の様子（市道 02-2 号線）

